

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
4thQ	1 年	1 単位	選択
担当教員			
章 潔			

講義概要	日本政府は2008年に観光庁を発足させるなど、海外からの観光客の受け入れに力を入れるようになり、その中で日本へやってくる中国語圏からの観光客は大きな割合を占めている。これからは、日本人が中国人を受け入れ、日本を案内するという状況がどんどん増えていくことが考えられる。授業を通じて、初級から中級へステップアップ。また、語学だけではなく、中国各地の主な見所や役に立つ情報について解説し、世界遺産を含む中国各地の名所旧跡や名物料理などを紹介する。 ①日本人学習者が苦手な発音を習得することと、ピンインの読み方に慣れることを目標にした発音練習。 ②本文で学んだ表現から1～2個を取り上げて、語句の置き換え練習を行う。 ③本文で学んだ表現を応用した短文や会話の練習を行う。		
授業計画	1	発音練習①	
		学習課題 復習：四声、声調 予習：テキスト9頁～11頁	
		① 声調と単母音 ② そり舌母音 ③ 練習と答え合わせ	
	2	発音練習②	
		学習課題 復習：発音練習①の主要内容 予習：テキスト12頁～13頁	
		①複合母音 ②I O UとU E Iの綴りの変化 ③練習と答え合わせ	
	3	発音練習③	
		学習課題 復習：発音練習②の主要内容 予習：テキスト14頁～15頁	
		①子音、無気音と有気音、そり舌音 ②発音と綴りの違い ③練習と答え合わせ	
	4	発音練習④	
		学習課題 復習：発音練習③の主要内容 予習：テキスト16頁～17頁	
		①鼻母音 ②NとNG発音の違い、I A NとI A N Gの違い ③練習と答え合わせ	
	5	発音練習⑤	
		学習課題 復習：発音練習④の主要内容 予習：テキスト18頁～21頁	
		①発音の規則、声調の変化 ②半三声、否定副詞不の変調、一の変調 ③R化の発音 ④中国語の音節構造	
	6	第一課 北京①	
		学習課題 復習：発音練習⑤の主要内容 予習：テキスト24頁～27頁	
		①人称代名詞 ②動詞述語文 ③副詞の「不」と「也」	
	7	第二課 北京②	
		学習課題 復習：第一課の主要内容 予習：テキスト28頁～31頁	
		①数詞と曜日 ②名詞述語文 ③所有と存在を表す「有」	
	8	第三課 北京③	

	9	学習課題 復習：第二課の主要内容 予習：テキスト32頁～35頁 ①「想」（したい）の表現 ②距離・時間の隔たりを表す「？」 第四課 北京④
	10	学習課題 復習：第三課の主要内容 予習：テキスト36頁～41頁 ①時刻の言い方、 ②連動文 ③「有点儿」「不太」の表現 ④北京の紹介 第五課 泰山・黄山
	11	学習課題 復習：第四課の主要内容 予習：テキスト42頁～45頁 ①選択疑問文「？是」 ②姓と名の言い方 ③動詞の連体修飾 ④「？」（～は？）、「可以」の表現 第六課 西安
	12	学習課題 復習：第五課の主要内容 予習：テキスト46頁～49頁 ①年月日、数量詞、完了の「了」 ②時点と時間の幅、「多」+形容詞、「太～了」の表現 第七課 成都
	13	学習課題 復習：第六課の主要内容 予習：テキスト50頁～53頁 ①「的」の省略（親族関係） ②主述述語文 ③親族の言い方 第八課 九寨溝
	14	学習課題 復習：第七課の主要内容 予習：テキスト54頁～59頁 ①前置詞「在」 ②動詞+「个」+目的語 ③動詞の重ね型 第九課 雲南省①
	15	学習課題 復習：第八課の主要内容 予習：テキスト60頁～63頁 ①方位詞、存現文、「不用～」、様態補語、持続を表す「着」 ②「有」+名詞+動詞、金銭の言い方、経験を表す「？」 総括
		学習課題 復習：第九課の主要内容 予習：発表原稿の準備
		①前期の授業内容をまとめる ②学生による発表会を行う
授業形態	演習	
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	① 中国語で日常会話をすることができる。 ② 日中文化の違いを類別できる。 ③ 中国語だけではなく、日中社会、文化の比較にも関心を持つ。 ④ 中国社会、文化などについて理解できる。 ⑤ HSK中国語検定2級にチャレンジできる。	
	定期試験の成績を60%とし口頭試験を行う。口頭試験では、ピンインの読み方、四声・アクセントの正確さなどが確認される。	
	授業態度、口頭練習の積極性40%、定期試験（口頭）60%。	
教科書・参考書	テキスト：『旅して学ぶ中国語』、楊凱榮・張麗群、朝日出版社。 参 考 書：授業内容に合わせて別途提示する。	
履修条件	中国、台湾籍以外の学生。	
履修上の注意	声調（四声）を意識しながら、発声練習をしておくこと。	

オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。
備考・メッセージ	中国語という言語だけでなく、中国の文化や風習など、すべて貪欲に吸収してほしい。